



セブン-イレブン 買物支援の取り組み



2021年2月
(株)セブン-イレブン・ジャパン

全国の自治体様との連携状況

◆地域包括協定の状況



◆地域包括連携協定 193自治体様

◆高齢者の支援に関する協定 537自治体様

(※20年11月末現在)

【①地産地消】



【②雇用(シニア・外国人)】



【③買物支援・見守り】



【④保育園(雇用)】



【⑤移住・起業支援】

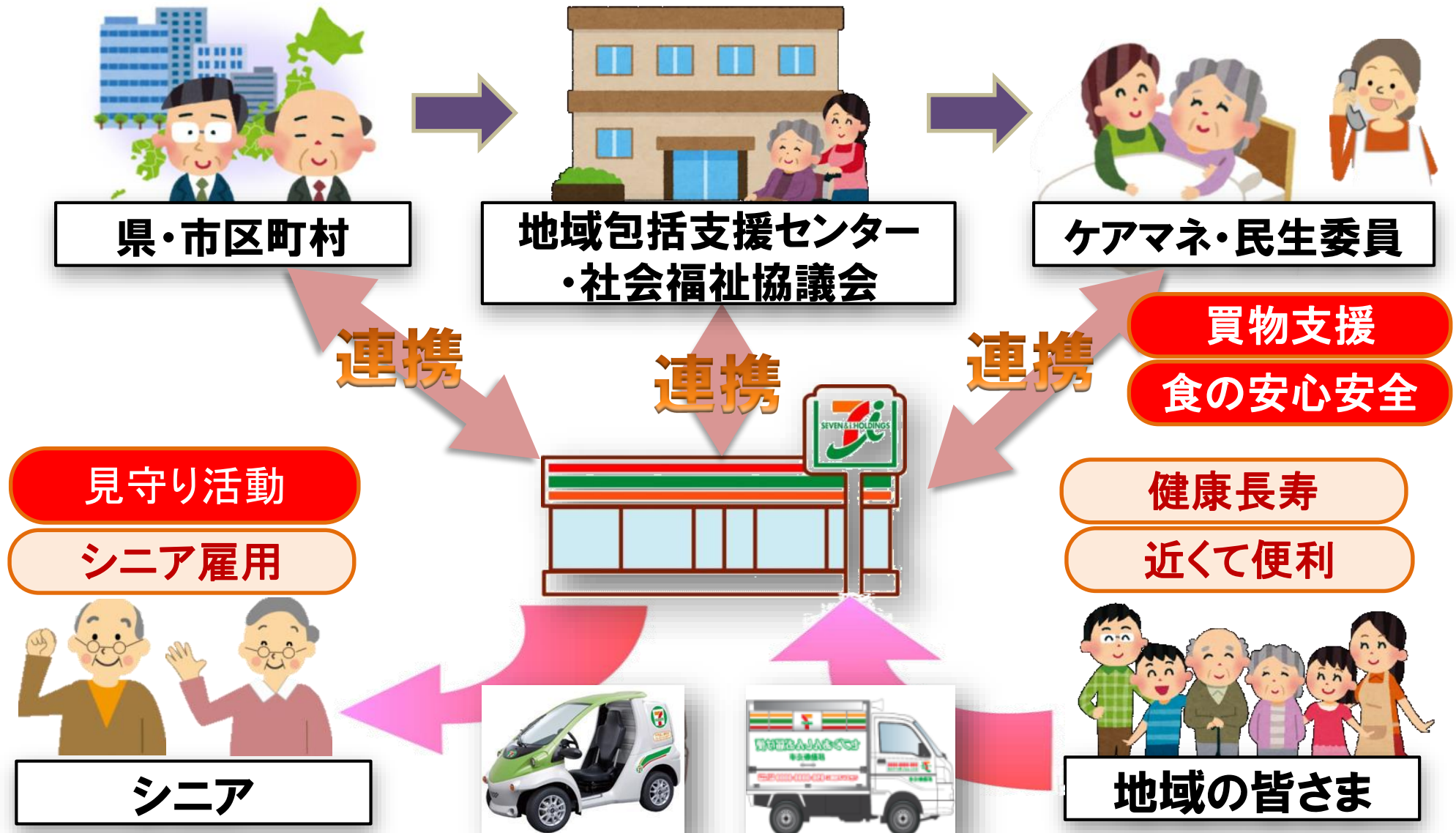


【⑥商品寄贈】



函南町とは2019年7月に包括連携協定を締結

<行政との協働で地域に根ざしたサービスを提供>



セブン-イレブンの取り組み

移動販売：あんしんお届け便の役割



【買物支援】
買物をする楽しさ
コミュニティの形成

【食卓応援】
バランスのよい
お食事の提供
安心安全な食材

【シニア見守り】
行政との連携
シニアの安心安全

あんしんお届け便 = 移動する **社会インフラ**

セブン-イレブンの買い物支援 全1,901台

20年12月末

セブンあんしんお届け便



移動販売車

107台 37道府県稼働

移動販売を通じた
生活支援

20年11月末

セブンらくらくお届け便



コムス(近距離)

692台



4WD軽(寒冷地)

103台



電動自転車

約800台

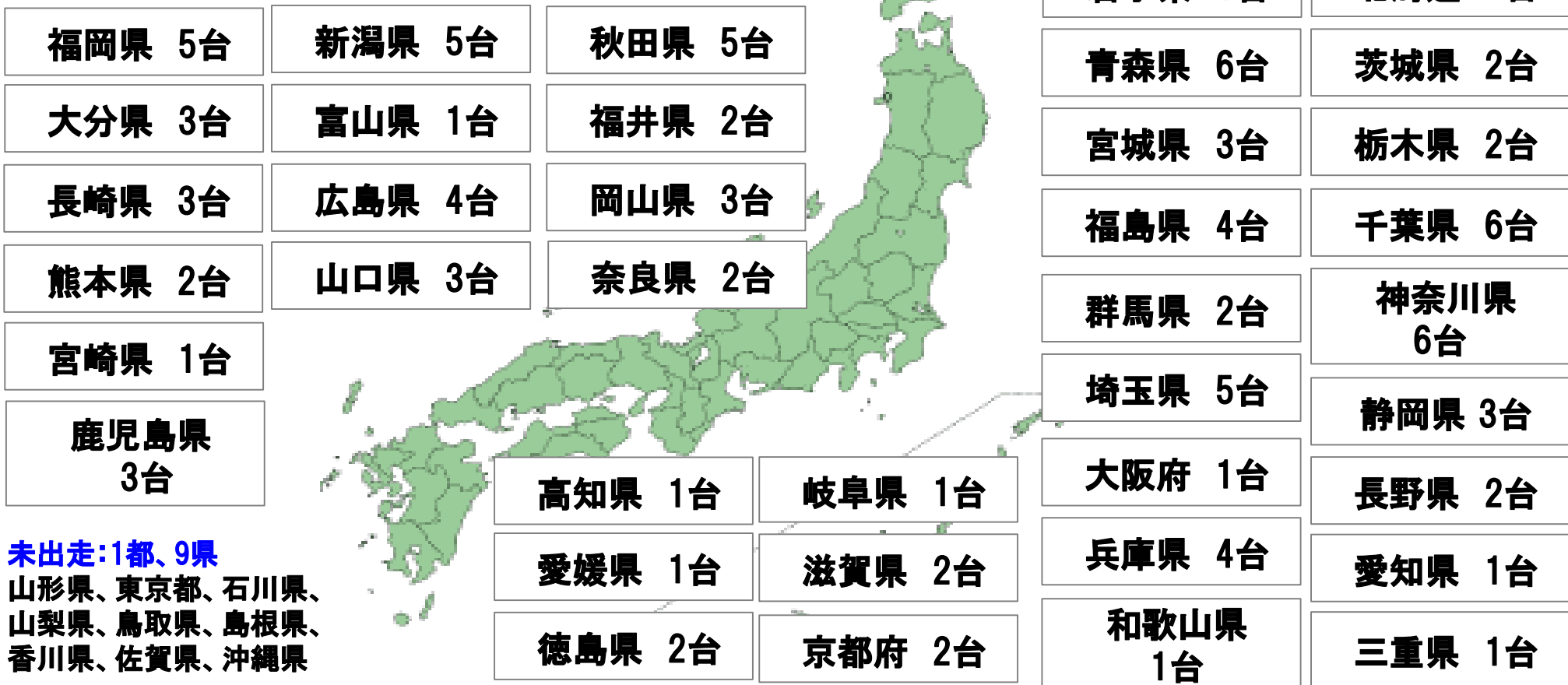
配達を通じた生活支援

➡いずれも **高齢者の見守り支援**にも繋がっています。

あんしんお届け便 展開状況

20年12月現在107台

37道府県稼働(未稼働:1都9県)



未出走:1都、9県

山形県、東京都、石川県、
山梨県、鳥取県、島根県、
香川県、佐賀県、沖縄県

セブンあんしんお届け便の特徴



- 米飯(20°C)ケース1本
- チルド(4°C)ケース2本
- 冷食・アイスの積載可
- 日用品・菓子等の常温品も可

酒・たばこ
免許品・調理
品除く

冷凍イメージ



4温度帯の商品を積載し訪問

あんしんお届け便移動販売について



ご要望に応じて様々な場所で販売しております。

あんしんお届け便：1日の流れ（例）

AM8:30
商品の積み込み開始



AM9:45
出発



AM10:00
1カ所目販売場所到着



PM14:30
帰着、精算



AM10:15～PM14:30
各所で移動販売実施



店舗主体者・専任者は
積み込みから精算まで管理

移動販売を継続させる為の役割分担

加盟店様

本部



長期的継続的な運営

一番大変な移動販売車
による運営を実施



燃料費一部負担



携帯POSレジ



車両無償貸与

※任意・強制保険
(無制限)
全額本部負担

加盟店が運営しやすいよう
様々なバックアップ策を実施

加盟店と本部がそれぞれの役割を果たし、移動販売を実施

県内・市町内の**買物困難エリア**（拠点）の共有、
及び現場へのバックアップが成功の鍵となります。



困っている人が集中する
地域・集落・施設のご紹介



販売拠点
（規制や法の問題）

移動販売車を通じ、函南町内で困っている方々に対して
買い物の不便性を払拭し「**近くて便利**」をご提供したい